

2018年
ノーベル平和賞
受賞者

デニ・ムクウェゲ医師講演会 in ヒロシマ
グローバルな平和と正義をめざして



入場
無料
通訳付き

日時

2019年 **10月6日(日)** 9:15開場
9:30開会 (~11:15)

会場

広島平和記念資料館地下 メモリアルホール
広島県広島市中区中島町1-2

お申込

事前申込を9月30日(月)までに以下のいずれかの方法でお願いします。

●オンラインフォーム: <https://forms.gle/9QddeMbZqgbHZRTS9>

●ファックス: 03-3363-7562 (ピースボート事務局: 担当渡辺宛)

「氏名」「連絡先(電話番号等)」「所属・職業・学校等」をご記入のうえ送信してください。

報道目的の方は、媒体名と共にその旨を明記してください。(講演会終了後、記者会見を行います)



開催趣旨

アフリカ中部のコンゴでは1996年から紛争が続き、これまでに600万人の犠牲者が出ています。特にコンゴ東部では、豊富な鉱物資源を資金源として100を超える武装勢力が闘争を続け、住民に対する人権侵害が横行しており、その中で、組織的な性暴力が行われています。デニ・ムクウェゲ医師は、コンゴ東部のパンジ病院で性暴力の被害女性たちの救済に力を尽くしてきました。その活動が評価され、2018年にノーベル平和賞を受賞しました。

今回、広島を初訪問するムクウェゲ医師は、広島平和記念資料館を訪ね被爆者と面会する予定です。その後、グローバルな平和と正義の実現のための課題を語っていただきます。日本とコンゴの共通の課題を考える機会になればと思います。

本講演会が行われる10月6日は、1996年にムクウェゲ医師が勤務していたコンゴ東部の病院が襲撃され、30人以上が犠牲になった日です。それ以降、凄惨な紛争が23年にわたって続いているのです。

デニ・ムクウェゲ(Denis Mukwege)

1955年、コンゴ民主共和国(旧ザイール)東部ブカヴ生まれ。産婦人科医・人権活動家。

1999年、ブカヴにパンジ病院を設立し、これまで5万人以上の性暴力被害者の治療と支援にあたってきた。さらに、パンジ基金も設立し、被害者の保護活動だけでなく、本質的な問題解決のために国連本部をはじめ世界各地で性暴力被害に関する演説を行っている。

2018年、ノーベル平和賞をイラク人女性活動家ナディア・ムラド氏とともに受賞。

自伝に『すべては救済のために』(あすなる書房、2019年)、ドキュメンタリー映画に『女を修理する男』(配給: ユナイテッドピープル、2015年)がある。

【お問い合わせ先】 03-3363-7561 pbglobal@peaceboat.gr.jp ピースボート(担当: 渡辺)
082-502-6304 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima

【共催】ピースボート、特定非営利活動法人ANT-Hiroshima、コンゴの性暴力と紛争を考える会

【協力】公益財団法人広島平和文化センター

【後援】広島大学、広島修道大学、広島女学院大学、広島市立大学広島平和研究所

【助成】公益財団法人庭野平和財団



映画『女を修理する男』より